

皇太子殿下が愛子様の子育てについて、ドロシー・ロー・ノルト著「子どもが育つ魔法の言葉」から引用された「子は親の鏡」という詩が大変話題になった。わずか十九行の詩であるが、その一行一行は、子どもと関わりの深い、親や教師の誰もが「ああ、そうだったのだ」とあらためて思い直される、重い意味を持っている。その中の一行に「愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ」とある。

この世の違いを認められるように
命を敬うように
確かな未来をつかむように
忘れないでほしい
その子はこの世にたった一人しかないのだ
子どもは違う
一人ひとりみんな違う
そんな子どもがいるから
この世にすばらしい
違いが生まれる
そうだ、子どもはみんな一人ひとり、違った光りを持っていてのだ。違うから虹色ができるのだ。早く光りを発する子もいれば、ゆっくり光りを発する子もいる。強弱、色彩もいろいろ違うかもしれない。でも、みんな光るんだ。新生磐田市の子ども一人ひとり、みんな光る子どもに違いない。
曇りない大人の鏡と魔法の言葉で、世界中の子どもがみんな光ってほしい。



前立腺肥大症

—あなたは大丈夫?—

Vol. 1



磐田市立総合病院
泌尿器科 医長
齋 須 和 浩

最近、オシッコの勢いが弱くなり、出し終わるまでに時間がかかるようになってきた、オシッコの回数が増えた…。五十歳以上の男性で、このような症状がみられたら、前立腺肥大症のサインかもしれません。

前立腺は男性だけにある臓器で、ぼうこうにたまった尿の出口の部分にあり、尿の通り道である尿道をちょうど取り囲むように存在します。通常は栗の実ぐらいの大きさですが、前立腺肥大症ではみかんぐらいの大きさになることもあり、その

中を通る尿道を圧迫するために尿が出にくくなってしまふのです。五十歳を過ぎると、前立腺肥大症を患う方は増えはじめ、七十歳以上の男性のおよそ半数に肥大があるといわれています。現在日本では、前立腺肥大症で約六十万の方が治療を受けています

が、治療を受けずにいる潜在的な患者さんは、その五倍以上の数に上るとみられています。

前立腺肥大症の検査は、超音波検査などで前立腺の大きさや、出し切れずにぼうこうに残ってしま

う尿（残尿）がないかを調べます。血液検査で前立腺がんがあると上昇するPSA（ピー・エス・エー）と呼ばれる腫瘍マーカーを測定し、がんの疑いがないか念のために調べます。また、実際に尿を出すときの勢いを測り、前立腺肥大症専用の問診表に症状の程度を記入してもらいます。

前立腺肥大症の治療は、まず、薬物療法から始まります。多くの場合、尿道前立腺の筋肉の緊張をやわらげて尿の通りを良くする内服薬が処方され、これによって、ほとんどの方は排尿に関する不快な症状が改善されます。